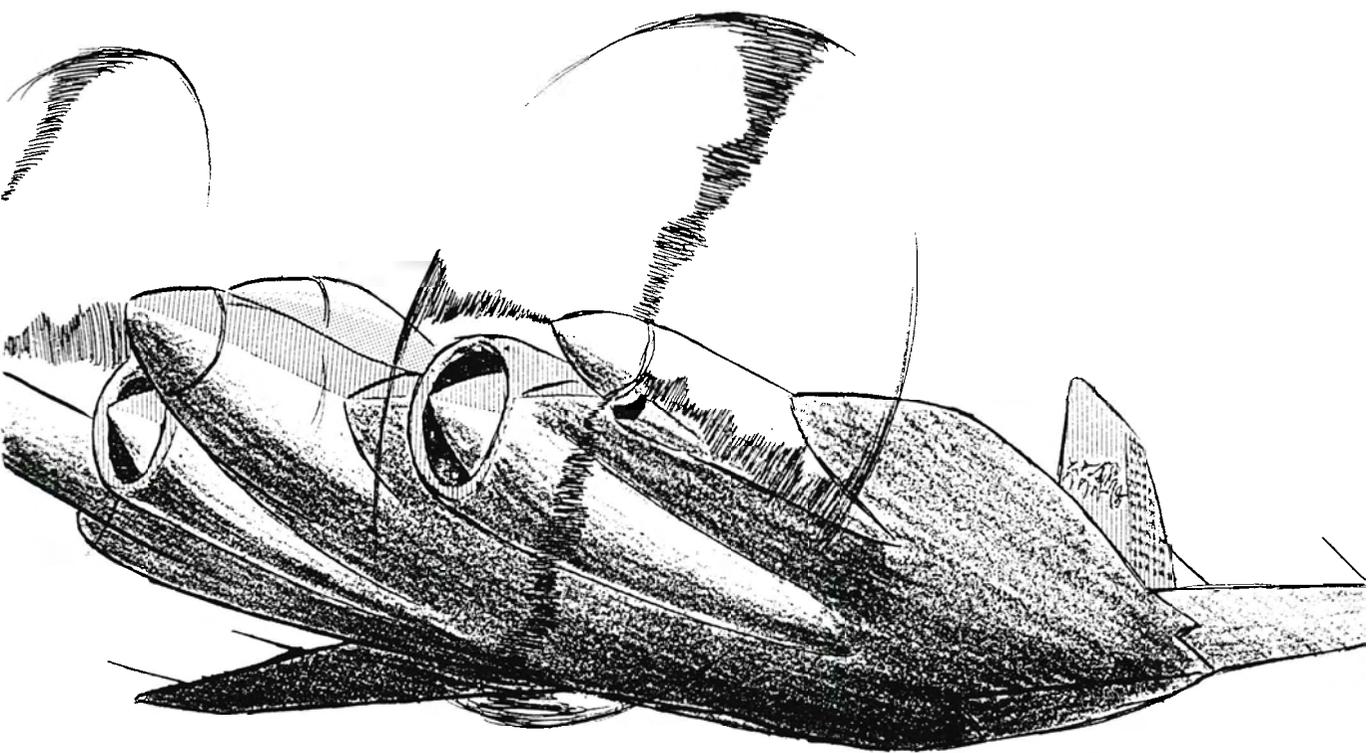


YALISH AIR FORCE.

第18回結果発表
(ゲーム時間：1944年10月)



今回の表紙：F5U-1 独雷安土機
“デュラハン☆×49”

画：孝行 始

☆戦果報告

ウィロビー准将：……作戦はどうやらギリギリのところであつた。戦闘でいくらかの犠牲が出たものの、そのほとんどの回収には成功した。諸君の勇戦に感謝する。

ケーデイス大佐：爆撃の効果はてきめんだつたようだ。新しく使つた黄燐焼夷弾は燃焼が粘り強く続くもので消火作業を困難にするものであり、首都マニラのほぼ1/4が全焼した。あのまま続けられれば今月中にも連中を降服させることも不可能ではなかつたが、日本艦隊が繰り出してきていたせいもあつてそのまま帰らなくてはならなかつた。またのチャンスに期待するでしょう。

話は変わるがレーダーなしで参加した連中に告ぐ。今回はシーモスキートを2機臨時に迎撃指令機として転用してしのいだが、それでも被害はかなりの数に上つた。夜間の戦闘でレーダーをつけないときは、遺書を残しておくくらいの覚悟はしておけ。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	BS	S	P	O	P	階級	状態	機体
香津美	13	6F5	その存在意義	巫由伽	0	1	3	1				准尉	生還	中破
	どぶろく	13	Spt	ファントム スワット	桂 美姫	0	0	3	2			准尉	生還	無傷
		VE	6F	そして劇画版	キディ	3	0	29	8			中尉	生還	無傷
		VE	6F5	新設定	レビア	0	0	1	1			准尉	重傷	大破
		捕虜		那魅							少尉	生還		
宇垣麻美	00	P40	愛しのマージ	リチャード・アイラ・ボング	0	0	5	3				准尉	生還	無傷
	01	P40	THUNDER BIRD	バーヅル・トレシー	0	0	1	1				准尉	生還	無傷
	01	P40	THUNDER BIRD	ゴードン・トレシー	0	0	1	1				准尉	生還	無傷
	VE	F6F	M249ミニミ	ラン	2	0	31	7				中尉	生還	無傷
		捕虜		R. スーパー							少尉	死亡		
正宗征士	00	Spt	ダイヤン・オパニオン	ジョン・トリオ	0	0	8	4				准尉	生還	無傷
	B1	Bar	グーデの紋章	ジリオラ	0	1	32	8				中尉	生還	無傷
				エフェラ			20	5				少尉		
				オーリン										
VE	F6F	女戸島竹三	みづぼし異	0	2	27	8				中尉	生還	無傷	
VB	B7A	LOVELY ENGEL	ユリ	0	2	37	8				中尉	生還	無傷	
				ケイ										
軍司栄一	00	P40	カトラス	ジタン・エリクセン	0	3	9	3				准尉	生還	無傷
	00	Spt	—	ヨハン・シュトラウス	0	2	7	3				准尉	生還	無傷
	B1	Hur	ゴルゴン	ターナ・ロンド	0	4	9	1				准尉	生還	無傷
	B2	Hur	サラマンドル	ワーレン	0	3	19	3				少尉	生還	無傷
		捕虜		救 広							准尉	軽傷		
森田欽也	00	Spt	—	ウィルビュア・アンダーソン	0	1	3	1				准尉	軽傷	中破
	00	Spt	—	ジョージ・ラーソン	0	0	1	1				准尉	生還	無傷
	00	Spt	—	ハロルド・アンダーソン	0	0	1	1				准尉	生還	無傷
	00	Spt	—	リチャード・ホール	0	0	1	1				准尉	生還	無傷
	00	F5U	デュラハン☆49	独雷安土	2	0	106	16				中佐	生還	無傷
	13	P40	—	L.D. ウィギンス	0	0	2	2				准尉	軽傷	少破
	13	P40	—	M. シース	0	0	5	2				准尉	生還	少破
	13	P40	—	P. F. ギルモア	0	0	4	2				准尉	生還	無傷
	13	6F5	—	C. ハートマン	0	1	3	1				准尉	生還	無傷
	13	6F5	—	J. ジョンソン	0	2	5	1				准尉	生還	少破
	13	6F5	—	R. リン	0	1	3	1				准尉	生還	無傷
	13	6F5	—	レヴァイアサン	0	0	81	13				少佐	生還	無傷
	B0	B5N	—	G. ハーマン			15	6				少尉	重傷	
				L. ブルー			8	4				准尉		

	V F 6 F 5	—	グウェン・カオ・キ	0	0	1	1	准尉	軽傷	中破		
	V F 6 F 5	—	フランク・ゴードン	0	0	2	7	中尉	軽傷	少破		
	V F 6 F 5	—	E. A. グレートハウス	0	0	1	1	准尉	生還	少破		
	V F 6 F 5	—	F. マクファーソン	0	0	6	4	准尉	生還	中破		
	V B S B D	—	ロバート・ブラウン	0	3	1	8	4	少尉	軽傷	中破	
			R. クロケット			1	5	3				
	V B S B D	—	G. ルーカス	0	3	2	7	6	中尉	生還	少破	
			M. レッド			1	1	3	少尉	重傷		
	V T B 5 N	—	B. マッカーサー	0	1	1	6	6	少尉	生還	中破	
			O. ゴールド			1	1	5				
			P. シルバー							重傷		
	V T B 5 N	—	H. ホワイト	1	1	1	7	6	少尉	生還	中破	
			R. B. ドアマス				4	1	准尉			
			K. ブラウン						中尉	戦死		
	捕虜		オロバス						少佐	死亡		
林孝始	0 0 S p t	Harpuia-II	ジュン・ランカスター	0	1	4	0	1	1	中尉	生還	少破
	0 0 S p t	Seiren-II	ルー・ラングレン	0	0	4	2	8	中尉	生還	中破	
	0 0 S p t	Tyrfinger	フォルカー・ガーランド	0	0	1	1	1	准尉	生還	無傷	
	1 4 P 4 0	THUNDER BIRD	エディ・サンダーボルト	0	0	8	6	6	准尉	軽傷	中破	
	1 4 H II B	Fire Drake	カール・グレイストーン	0	0	1	0	6	少尉	生還	少破	
	B 0 S p t	Sylphid	シルビア・サンダーランド	0	4	9	1	1	准尉	生還	少破	
	B 0 T m p	Shylph-III	ジェフリー・アイザック	0	5	6	9	7	大尉	生還	無傷	
	V F 6 F 5	Super TomCat	リック・フォード						中尉	戦死		
	V E H H r	Burning Blood	オリビエ・グラジエーター						大尉	戦死		
	V B S B D	Brontes	デーモン・ブラッドショー	0	3	8	2	2	准尉	軽傷	中破	
			リチャード・クラブマン				7	1	准尉	重傷		
	V B S B D	Line Backer	ジェームズ・アンダーソン	0	3	1	1	3	少尉	軽傷	墜落	
			ロバート・フランデル						中尉	戦死		
	V T B 5 N	Spriggan	レイラ・ウェリントン						中尉	戦死		
			ティナ・ハドソン									
	療養		マーティン・オルズ						准尉	回復		
	捕虜		李 春麗						少尉	死亡		
	捕虜		リンダ・フルマー						大尉	生還		
永山真時	0 0 P 4 0	サファイヤ・ボーイ	ウォレン・ヒューズ	0	1	3	1	1	准尉	生還	少破	
	0 0 S p t	レディ・キラ	オリビエ・ボラン	0	0	1	1	1	准尉	生還	少破	
	1 3 S p t	タンディー・スマッシュ	イワン・コーネフ	0	0	1	1	1	准尉	生還	無傷	
	B 0 H u r	アップルジャック・バスター	コードウェル・ラディ	0	2	5	1	1	准尉	生還	無傷	
	B 1 P 4 0	エメラルド・ボーイ	アレ・サジス・シェイクリ	0	1	3	1	1	准尉	生還	無傷	
村松雅和	1 5 S p t	AIR WOLF	J. ウォーリック	0	0	5	4	4	准尉	生還	少破	
	1 5 P 4 7	R A. M A L S	S. タンカレー	0	2	5	6	8	大尉	生還	無傷	
	1 5 F 5 U	Wal kü re	マティーニ	0	0	6	2	1	6	大尉	生還	少破
	B 2 H u r	W i t c h VII	K. リキュール	0	3	5	0	1	1	大尉	軽傷	少破
	B 2 S B D	Leidi's Blade	関 凶	0	2	2	3	5	少尉	生還	無傷	
			許 仲									
	B 2 B a r	Qitiandasheng	王 彦章	0	2	2	3	7	少尉	生還	無傷	
			陳 濟									
			S. ルイス			1	5	5				
	捕虜		楊 遇春						准尉	生還		
水野谷滋久	0 0 6 F 5	BLACK FOG I	慎悟・モールス	0	1	4	2	2	准尉	生還	無傷	
	0 0 6 F 5	BLACK FOG II	クレイトン・ウォルターズ	0	0	2	2	2	准尉	生還	無傷	

	00	6F5	BLACK FOG III	フランク・スパークス	0	0	3	2	准尉	軽傷	少破					
	01	Spt	SETTING SUN IV	ルイス・フリーク	0	0	2	2	准尉	生還	無傷					
	01	6F5	SETTING SUN I	ガイ・プレイヤー	0	0	2	2	准尉	生還	無傷					
	01	6F5	SETTING SUN II	ジョージ・アンダーソン	0	0	2	2	准尉	生還	無傷					
	01	6F5	SETTING SUN III	エモリー・クラーク	0	0	2	2	准尉	軽傷	無傷					
	02	Spt	KILL JAP I	レイ・ザーリン	0	0	1	1	准尉	生還	無傷					
	02	Spt	KILL JAP II	アル・リエント	0	0	1	1	准尉	生還	少破					
	02	Spt	KILL JAP III	トニー・フェルナンド	0	0	1	1	准尉	軽傷	中破					
	B1	Hur	RED FOX I	アレックス・ハーレム	0	2	5	1	准尉	軽傷	中破					
	B1	Hur	RED FOX II	ロナード・バーン	0	1	3	1	准尉	生還	中破					
	V	B	H	H	r	WHITE WING II	アラン・スタイナー		中尉	戦死						
	V	B	S	B	D	WHITE WING I	トム・ハミングウェイ	0	3	1	2	2	少尉	生還	少破	
							カイト・ランスロット						1	准尉	軽傷	
	V	B	S	B	D	WHITE WING III	ジョー・イン	0	3	1	0	2	少尉	軽傷	中破	
							スコット・マイア						1	准尉		
小西清彦	B1	Hur	レッドアイ I	J. マツダ	0	2	5	1	准尉	生還	無傷					
	B1	Hur	レッドアイ II	D. ポルシェ	0	1	3	1	准尉	軽傷	中破					
	B1	Hur	レッドアイ III	A. フォード	0	1	3	1	准尉	生還	少破					
	B1	Hur	レッドアイ IV	I. フェラーリ	0	2	5	1	准尉	生還	無傷					
			捕虜	キャラ・メイ					准尉	軽傷						
古橋道生	13	FM	Wink ² I	ローラ・バタネン	0	1	7	4	准尉	軽傷	少破					
	13	Spt	LOVELY KNIGHT	Z. マクガイア	0	0	3	3	准尉	生還	無傷					
	13	Spt	MAGIC STRAT	N. ライアン	0	0	4	3	准尉	生還	無傷					
	13	6F5	Beautiful Maly	R.R. マクナルド	0	1	10	4	少尉	生還	少破					
	B0	SBD	喰けるなドラゴンズ	R. エリクソン	0	2	13	3	少尉	生還	無傷					
	B0	P38	イントルダ-1	A. F. シルビア			1	2	2							
	B0	P38	ブッチャー 1号	アーク・ディビット	0	1	18	4	少尉	生還	無傷					
			捕虜	ジョン・アンダーソン	0	2	20	4	少尉	生還	中破					
			捕虜	井上 昌己					少尉	死亡						
			捕虜	C. ガルシア					准尉	生還						
中野貴志	02	P40	サン・ライト	マーク・G・ダグラス	0	1	11	6	少尉	生還	無傷					
	02	520	ハーフムーン	D.B. ホートレフ	0	0	3	2	准尉	生還	少破					
	15	Spt	シルバーウルフ	フェル・ミース	0	0	1	1	准尉	生還	無傷					
	B2	I81	Bongo	サルマハーン	0	3	7	1	准尉	生還	少破					
	B2	Hur	OH! GOD	M.C. アーネスト	0	3	15	3	少尉	生還	少破					
	B2	SBD	SAM	マイク・クライム	0	2	12	6	少尉	軽傷	少破					
				ロイ・マックス			1	1	5							
	V	T	B	5	N	METAL	R. ディアディス	0	2	6	2	准尉	生還	無傷		
							ヒュー・マージ									
	V	T	B	a	r	イービルデス II	マロネ・J・ダズリー	0	2	2	2	6	少尉	生還	少破	
							ローリー・アンダーソン									
							カル・ア・ミルツァ									
							レイ・マキバレイ							准尉	軽傷	
							J. クロスノフ							少尉	重傷	
							J. ラースス							少尉	生還	

※捕虜で戦死したのものには、特進は行われません。なお生還した捕虜には、スコアと給料は与えられません。そのかわり(?) 前回の治療費等は一切不要です。

☆略号解説(新登場・申請機のみ)

F 6 F 5…F 6 F-5 ヘルキャット H II B…ハリケーン Mk II B
T m p…テンペスト Mk V H H r…フックド・ハリケーン Mk II C 5 2 0…D 5 2 0
I 8 1…I A R 8 1 C

☆状態欄解説

生還…文字通り。 軽傷…ちょっとした怪我です。 重傷…文字通り。この場合に限って治療費以外は無料で作戦を回避できます。 戦死…文字通り。 事故…事故死。特進の対象になりません。 死亡…捕虜救出戦闘中の戦死。特進の対象にはなりません。

☆機体欄解説

無傷…文字通り 少破…軽いダメージ 中破…少し痛いダメージ 大破…使用不能
撃墜…文字通り 喪失…母艦沈没・基地攻撃による喪失 墜落…前記以外による喪失

☆次回作戦

《基地》

准将：米軍はこないだの台湾作戦でかなりやられたようなのでな、その力の源であるイザベリアにギャフンと言わせることにした。我々基地航空隊はタウイタウイから出撃し、敵勢力の一部をスル海に引き付ける。運が向いているようなら沈めてしまえ。なお 7 0 2 F S、7 0 5 F S、7 0 2 B S は別動隊としてサンボアングの敵基地へ夜間空襲を行なう。ロケットの対地用搭載は可だぞ。チャフの装備も忘れるな。

《空母》

大佐：米軍は台湾作戦では手ひどくやられたらしい。でもって今回はイザベリアを叩くことにしたようだ。我々もそれに手を貸す。どうやら連中はこのドサクサに紛れてまた日本軍から主力艦を手に入れる魂胆らしいからな、精一杯ジャマしてやれ。言いたいことはそれだけだ。成功を祈る！

◇次回の編成

《基地》

7 0 F W <制空>

7 0 0 F S…第1波 7 0 1 F S…第1波 7 0 2 F S…夜間

7 1 F W <制空>

7 0 3 F S…第2波 7 0 4 F S…第2波 7 0 5 F S…夜間

7 0 B W <爆撃>

7 0 0 B S…第2波 7 0 1 B S…第2波 7 0 2 B S…夜間

《空母(註)》

「ダルサラーム」

V F…艦隊護衛 V E…V B/T護衛 V B…水平 V T…雷撃

註：F 6 F・F 4 U・S B D・バラクーダ・B 5 N・B 7 A・シーモスキート・T B M、並びに適切な改造を施したハリケーン・スピットファイアのみ参加可。

なお、V Tはバラクーダ・B 5 N・B 7 A・シーモスキート・T B Mのみ。

※空母シナリオは制式機使用キャラのみ選択可能です。 ※容量の関係上、空母シナリオは各隊合計100機になった時点で締め切ります。あふれたものは基地飛行隊の第1波に回されます。

PCリプレイ

まずは母艦航空隊の夜襲を片付けよう。

港を出て以来一直線に全速で飛ばしてきた艦隊から出た各飛行隊は、シーモスキートの誘導で一路マニラへ向かった。あまりに数の均衡が崩れているため、V Fのものもこの時護衛に回されている。やがてマニラ上空に到達したが、街は暗かった。このところ米軍によるルソン北部空襲が続いていたため、灯火管制が敷かれていたのである。レーダーに頼

った盲目爆撃しか方法はなかったが、作戦の目的から言っただけでいいはずだった。……まさか南部からここまでいきなり来るとは思っていなかったのだろう、迎撃は一切なかった。しかし爆撃が始まってからがひどかった。まず、いきなり公室宮殿上空を気付かずに突っ切ってしまったのが効いた。猛烈な対空砲火を浴びることになったのである。VTのB5N、レイラ・ウェリントン機は至近弾を受けてそのまま撃墜された。他にも至近弾の破片で多数の乗員たちが怪我を負っている。爆弾投下は「一応無事に」済まされたが、その帰りは往路ほど穏やかではなかった。まず、シーモスキートが敵機接近を警告した途端、VBのハリケーン、アラン・スタイナー機が火ダルマになった。つまりレーダーの死角から攻められたわけである。夜間戦闘機隊のHe 219だった。損害を減らすため各機は散開し、戦闘機隊は反撃に……打って出ようとしたものの、これが大きな壁にぶち当たった。敵が見えないのである。こちらにレーダーはなく、敵にはある。敵機の排気焰を頼りにしようにも、敵は消焰装置も備えているのでまるでわからない。闇雲に撃てば見方に当たる恐れさえあった。

やがてこれではイカンと判断したか、シーモスキートが迎撃指示を出し始めた。ただこれはあくまで退路を切り開くためのものであって敵を落とすためのものではなく、各パイロットの戦果向上には結び付かなかった。しかも、やはり味方撃ちによる損害が発生した。

次に本題、基地航空隊の捕虜奪回作戦に移る。

コタバトを出た彼らは、20分ほどして目標上空に到達した。勿論レーダーを避けるため、森林頂部ギリギリ一杯の低空飛行である。

ジェフリー・アイザックのテンバストとシルビア・サンダーランドのスピットファイアが真っ先に突っ込んで行って、機銃掃射で滑走路制圧に入った。列線に並べられていた和製DC-3、零式輸送機が手に取るようにハッキリ、横を流れていく。ハデにぶちまけて行った彼だったが……全然関係ない方向にあった一機がいきなり火球を噴いて四散した。エンジン・ランナップ中だった何機かのうちの一つだったが、どうも妙に気にかかるのだった。実は跳弾が燃料タンクを食い破り、ご丁寧に火までつけたのだ。そして、これこそ移送される捕虜の第一陣を乗せた機体だった。R. ヌーボー、オロバス、李春麗が逃げられずに死亡した。何とか逃げられた井上昌己も、後続機の掃射の跳弾をモロに受け、そのまま絶命してしまった。爆撃で対空陣地を半分ほど沈黙させたところでC-47に曳航されていた侵攻用グライダーが強行着陸し、特殊部隊の隊員がはきだされる。収容所の位置は大まかながらわかっているので周辺制圧はその後それなりにスムーズに進んだが、しかし跳弾による効果は凄まじかった。敵味方関係なく、狙いにも関係なく手当たり次第に倒していくのだ。

収容所の扉にしかけられたプラスチックが爆発したのもスイッチによってではなく、跳弾によるものだった。これでまた作業者一人がやられている。残されていたパイロットの無事が一応確認されたところでC-47が強行着陸した。地上からの哀願により、この時点までに機銃掃射は滑走路を避けるようにして行われるようになった。

陸軍兵の中にも敵味方双方による損害はかなりのものがあった。それでもまるきり見捨てるよりは兵員数のタシになったという点で、よしとすべきなのだろう。 (岬)

今回の認可機について

IAR81C…500zg